

令和2年度 青少年の体験活動推進企業表彰

受賞企業一覧

優秀企業（プレゼンテーション企業）

- KDDI株式会社**
「KDDI 草木と森のいきもの図鑑」
- 株式会社ニチレイフーズ**
ニチレイフーズ独自の「ハミダス活動」
- 日本ハム株式会社**
日本ハム「ウイナーの手作り体験教室」
- 東日本電信電話株式会社**
「見る、楽しむ、考える スポーツ研究所」
ICCキッズ・プログラム2019
- 株式会社丸協酸素商会**
液体窒素を使った化学実験
- 森ビル株式会社**
ヒルズ街育プロジェクト
- サントリーホールディングス株式会社**
サントリー水育 「森と水の学校」
～未来に水を引きつぐために～
- 日鉄エンジニアリング株式会社**
情熱・先端Mission-E
(中学・高校生向けのエンジニアリング教育プログラム)
- 阪急阪神ホールディングスグループ**
「阪急阪神 未来のゆめ・まちプロジェクト」
小学生向けキャリア教育プログラム
- フジコーポレーション株式会社**
うわ〜きっず
- 森永製菓株式会社**
森永リトルエンゼル育成プログラム
「チャレンジ!サイコー冒険隊」
- ユニリーバ・ジャパン・カスタマーマーケティング株式会社**
ダヴ「大好きなわたし〜Free Being Me〜」ワークショップ

審査委員会奨励賞

- グッドホールディングス株式会社**
こども農業塾
- 株式会社フジヤマ**
「ホテルも棲める良い自然プロジェクト」
- フューチャー株式会社**
フューチャー インベーション フォーラム(FIF)
「Kids Innovation Lab」
- パナソニック株式会社**
子ども向け「エコ体験学習」
- 株式会社ファンケル**
特別支援学校の子どもの自立を応援する
「ファンケル身だしなみセミナー」
- 株式会社マルイ**
地域(大山)・食を学ぶ・味わう。
”ブロックリー定植・収穫体験in大山”



文部科学省

令和3年3月

担当：文部科学省総合教育政策局地域学習推進課青少年教育室

〒100-8959 東京都千代田区霞ヶ関3-2-2 TEL:03-5253-4111 (代表) <https://www.mext.go.jp>

優秀企業(プレゼンテーション企業)

各事例は、企業の意向を踏まえて掲載しております。

自然環境

「KDDI 草木と森のいきもの図鑑」



KDDI株式会社 <https://news.kddi.com/kddi/corporate/csr-topic/2019/11/07/4123.html>

事業概要 小学生を対象にICTを活用した環境教育を実施しています。NPO団体と連携し、自然に触れるフィールドワークと当社貸出のタブレットで昆虫や植物の撮影や動画編集アプリを活用した動画図鑑の作成を行い、環境保全や生物多様性への理解促進を図ります。

対象者 小学校3～6年生 **実施日程** 令和元年7月～11月 **参加者** 216名(5校/計6回実施)



KDDIは、2030年を見据えたKDDIのSDGs「KDDI Sustainable Action」において、「地球環境の保全」と「次世代の育成」を取り組むべき課題領域の一つとして掲げています。本講座では、子どもたちが校庭で昆虫や植物の生態や特徴などを学び、環境保全や生物多様性について理解を深めることを目的に、ICTを活用しながら3つの観点「①体験から学ぶ」「②体験を形にする」「③体験を形で伝える」に基づき実施しています。これらを通じて、身近な環境資源に関心を持つ機会の創出、持続可能性について考えるきっかけ作りに貢献しています。

- ① 体験から学ぶ：環境の専門家と連携したフィールドワークを実施し、昆虫や植物をタブレットで撮影しながら、それらの特徴や生態について学ぶ。
- ② 体験を形にする：撮影した素材と学んだ情報をもとに、動画作成アプリケーションを用いてオリジナルの動画図鑑を作成する。
- ③ 体験を形で伝える：オリジナルの動画図鑑をクラスの中で発表し合い、新たな発見や気づきを得る。

自然環境

サントリー水育 「森と水の学校」
～未来に水を引きつぐために～



サントリーホールディングス株式会社 <http://suntory.jp/MIZU-IKU/>

事業概要 「森と水の学校」は、小学校3～6年生とその保護者を対象に、「サントリー天然水」のふるさと(白州・奥大山・阿蘇)で行う自然体験プログラムです。大自然の中で、森の探検や水に触れる体験を通して、水の大切さや、水を育む森や自然の大切さを体感します。

対象者 小学校3年生～6年生とその保護者 **実施日程** 令和元年7月～8月 **参加者** 1,845名/58回開催



サントリーグループは、水の恵みを製品に生かし、それをお客様にお届けしています。私たちは、「水と生きる」を社会との約束に掲げ、生命線であるその「水」を育む森づくり「天然水の森」活動をはじめ、美しい水を未来へとつなぐ環境活動を行っています。

次世代に向けた「水育」活動も、そのひとつです。

「水育」は、自然体験プログラム「森と水の学校」と、小学校で行う「出張授業」の2つの活動があります。

「森と水の学校」は「サントリー天然水」のふるさとの大自然の中で行います。目で見て、手で触れ、足で踏みしめ、音を聞き分け、においを感じ、さまざまな体験を通して、自然のすばらしさを感じ、水や、水を育む森の大切さに気づき、未来に水を引きつぐために何ができるのかを一緒に考える、次世代に向けたプログラムです。子どもたちが、自然の中での体感を通して、大切な水をひきついでいくことを、自分事として考え続けてほしいと願っています。

職業仕事

ニチレイフーズ独自の「ハミダス活動」



株式会社ニチレイフーズ <https://www.nichireifoods.co.jp/corporate/hamidasu/education/program.html#education-01>

事業概要 従来の小学生を対象にした出前授業「出張工場見学」から、近年の様々な要望に応じて、シニア地域大学講座向け、遠隔地・離島向け、フリースクールの子どもたちや、各種の福祉施設等への新たな食育活動に取り組んでいます。

対象者 小学生～大学生 **実施日程** 令和元年8月～令和2年2月 **参加者** 各活動 計292名

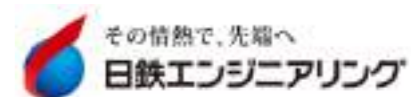


2014年、ニチレイフーズは新たな出前授業『出張工場見学』を作成しました。コンセプトは、見る!学ぶ!楽しく!です。ニチレイフーズの社員が講師となり、小学生を対象に、リアルな動画とパワーポイントを使って、冷凍食品ができるまでの製造工程を分かりやすく紹介します。実際の工場見学でも見ることができない映像や冷凍食品クイズを盛り込みながら、楽しく学べる食育プログラムです。映像を見る子どもたちの真剣な眼差しと笑顔のあふれる楽しい出前授業です。

2018年度以降は食育活動の内容が大きく様変わり(進化)しました。これまでの食育活動の対象者は小学生のみでしたが、幼稚園児から大学生、65歳以上のシニアまで、幅広い年齢層へ拡大しています。更には、フリースクールの子どもたちや、各種の福祉施設等へも出向いて食育を実施しています。内容も品質保証・素材調達・SDGsの理解などの内容も追加しています。

科学技術

情熱・先端Mission-E
(中学・高校生向けのエンジニアリング教育プログラム)



日鉄エンジニアリング株式会社 <https://www.eng.nipponsteel.com/csr/socialcontribution/mission-e.html>

事業概要 洋上風力発電や大空間建築、工場の廃熱利用など、社会課題に対し、中・高校生チームが8ヵ月(*計画時)かけて設計・製作、その性能を実機試験とプレゼンテーション形式で競うエンジニアリング体験プログラム
(*2019年度は新型コロナウイルスの影響で終了まで約1年)

対象者 関東地区と九州地区の中学生・高校生 **実施日程** 令和元年8月～令和2年8月 **参加者** 計9校 68名



若い世代の理系離れが懸念される中、高校生たちが、大人もまだ解決できていない社会課題(関東地区:①浮体式洋上風力発電設備の設計・製作、②大空間構造物の設計・製作、九州地区:パソコンを工場に見立てた廃熱利用)に取り組み、学校で学んだ知識や理論が実社会でどのように活用されるのか、チームで取り組むことの難しさや素晴らしさも含めて、「エンジニアリング」を体感することで、将来の進路やキャリア選択に役立ててもらいたいとしています。

上記テーマは、教育のために作られた課題ではなく、実社会で大人が真剣に取り組んでいる開発テーマであり、科学に関心のある生徒たちは、何度も失敗しながらも、目を輝かせて取り組んでいます。学校の先生方も、指導する当社エンジニアも、助言はするが手は出さない、指示はしない、という当プログラムのルールを共有し、生徒たちの自発的な挑戦を促しています。

優秀企業(プレゼンテーション企業)

各事例は、企業の意向を踏まえて掲載しております。

生活文化

日本ハム「ウイナーの手作り体験教室」



日本ハム株式会社 https://www.nipponham.co.jp/csr/food_sports/education/

事業概要 ニッポンハムグループは2008年に食育活動方針を定め、「食べること、楽しむ！」をスローガンに年間500件以上の食育活動を実施しています。その活動の1つに「ウイナーの手作り体験教室」があり、3つの座学プログラムと五感に響くウイナー手作り体験を提供しています。

対象者 小学校3年生～6年生、中学校1年生～3年生 **実施日程** 平成31年4月～令和2年3月 **参加者** 子ども1,321名



食生活を取り巻く社会環境が大きく変化し食生活の多様化が進む中、朝食をとらないなど子どもの食生活の乱れが指摘されています。本事業は、子どもたちが将来にわたり健康に生活していけるよう、栄養や食事のとり方などを正しい知識に基づいて判断し、食事をコントロールしていく「食の自己管理能力」と、「望ましい食習慣」を身につけていただくことを目的としています。授業は座学(1コマ)と体験(2コマ)の2部構成で実施し、日本ハムの社員が講師となり、NPO法人「企業教育研究会」より派遣された授業サポートスタッフの大学生(2～3名)と共に授業を実施しています。



【座学】ではニッポンハムグループ独自の「3つのサン」「3つの働きの食べものを食べる」「1日3回食べる」「サンキューの気持ちを大切に食べる」という言葉を用いてバランスの良い食事についてお伝えしています。

【体験】では羊の腸、豚の挽肉を無駄にすることなく使用して本格的なウイナーを作り、皆で楽しく試食します。また宗教上の理由等で豚肉が食べられない児童向けに、チキンナゲット作りのプログラムも用意しており、SDGsが掲げる「誰一人取り残さない」教育を実施しています。

職業仕事

「阪急阪神 未来のゆめ・まちプロジェクト」

小学生向けキャリア教育プログラム

阪急阪神ホールディングス

阪急阪神ホールディングスグループ

①阪急阪神 ゆめ・まちチャレンジ隊 <https://www.hankyu-hanshin.co.jp/yume-machi/challenge.html>

②阪急ゆめ・まち わくわくWORKプログラム <https://www.hankyu-hanshin.co.jp/yume-machi/wakuwaku-work.html>

事業概要 鉄道や不動産、ホテルなど「まち」に関わる様々な事業を営む企業グループであることを活かし、体験学習プログラム「阪急阪神 ゆめ・まちチャレンジ隊」と出張授業「阪急ゆめ・まち わくわくWORKプログラム」の2種類の小学生向けキャリア教育プログラムを実施。

対象者 小学生およびその保護者 **実施日程** ①令和元年7月～8月 ②令和元年5月～令和2年2月

参加者 ①小学生2,707名およびその保護者 ②小学生5,473名



当社グループは、グループ横断型の社会貢献活動「阪急阪神 未来のゆめ・まちプロジェクト」において、次世代の育成に力を入れています。その一環として、平成22年より、鉄道や不動産、ホテルなど「まち」に関わる事業を幅広く営むグループ各社の事業のノウハウや施設等を活かした小学生向け体験学習プログラム「阪急阪神 ゆめ・まちチャレンジ隊」を実施しています。電車の運転士体験やホテルのパティシエ体験などの職業体験を中心に、多種多様なプログラムを展開しています。このチャレンジ隊を通じて社会教育への関心の高まりを感じ、より多くの子どものために機会を提供するべく、平成28年度より実施しているのが小学校高学年向け出張授業「阪急ゆめ・まち わくわくWORKプログラム」です。阪急電鉄の社員が出向き、子どもたちがまちの発展に情熱をかけたグループの創業者の知恵を学び、まちを支える様々な職業と自分の興味・関心との繋がりに気づく機会を提供しています。

科学技術

「見る、楽しむ、考える スポーツ研究所」
ICCキッズ・プログラム2019



東日本電信電話株式会社 <https://www.nttcc.or.jp/ja/exhibitions/2019/icc-kids-program-2019-sports-laboratory/>

事業概要 小中学生を対象に、現代のメディア環境や最新のメディア・アートに触れる機会や体験型のワークショップ等を入場無料で提供。子どもたちの好奇心や想像力を育み、新たな創造に繋げることを目指した教育普及活動としてNTT東日本が実施している文化振興事業です。

対象者 小学校以上 **実施日程** 令和元年7月～8月 **参加者** 来場者 17,519名 / 体験型イベント参加者 計563名



2019年度のキッズ・プログラムではスポーツとICT技術を組み合わせ、観客に共感を呼び起こす新しいスポーツ観戦の方法や、視覚障がい者とのスポーツの楽しみ方の提案、スポーツを科学的にとらえ、身体能力をイメージすることで体験を拡張する試みや、新しいスポーツのルールを考えるなどの展示を実施しました。通信技術を利用した文化芸術表現による、さまざまなスポーツの考え方を通じて、子どもたちに新しいスポーツのあり方や体験的な気付きを提供するとともに、想像力を広げ、思考や創造を生み出すきっかけとなる場を目指しました。

「ICCキッズ・プログラム」の取組みに2008年度より新宿区、2012年度より渋谷区、2016年度より中野区、文京区の教育委員会様にご理解とご後援を頂くとともに、会期前に都内等約40万人の小中学校の子どもたちへご案内チラシを配布し、ICCにおける教育普及活動の理解促進を図っています。 ※2019年度の来場者数は「17,519名」、2006年度からの来場者総数は「197,039名」。

教育関係の皆さまからは2020年からのプログラミング教育の必修化にも役立つとして、また、保護者からは子どもたちの夏休み自由研究テーマに最適であるとしてアンケート回答を頂くとともに、リピーターとしても多数ご来場頂いております。

職業仕事

「うわ～きっず」



フジコーポレーション株式会社 <https://www.e-fujii.co.jp>

事業概要 小学生向け仕事体験プログラム。除雪機や草刈機を生産する工場で、実際に販売する製品作りに、親子で参加。ものづくりの楽しさを感じると同時に、作業の報酬を受け取り、買い物をする経験を通して労働の大変さを実感できる。

対象者 小学校3～6年生の児童とその保護者 **実施日程** 令和元年8月 **参加者** 親子9組



1865年の創業以来、農業機械や除雪機の製造で培ってきたものづくりの技術を活用し、未来を担う子どもたちへ「うわ～きっず」という仕事体験の場を提供しています。対象は小学校3～6年生の親子。2015年に創業150周年を記念して実施。それ以降毎年実施しています。

子どもたちは本物の工場で作業者と一緒に国内外に販売する除雪機をつくる体験ができます。リアルな現場での体験を通して、ものづくりへの興味や楽しさの実感、また労働への理解を深めてもらうことが実施目的です。作業は子どもも安全にできる生産に必要な部品の準備・搬送や機械の組立等ですが、全て実際に作業員が行う仕事です。さらに作業報酬として子どもたちに渡される事業専用通貨「うわ～きっずマネー」で買い物体験をして、働く社会人の疑似体験ができる機会も設けています。

うわ～きっずでの体験が将来を考える1つの手がかりとして子どもたちの記憶に残るよう、充実した時間の提供を目指しています。

優秀企業(プレゼンテーション企業)

各事例は、企業の意向を踏まえて掲載しております。

科学
技術

液体窒素を使った化学実験



株式会社丸協酸素商会 <http://www.marukyosanso.co.jp/csr/>

事業概要 次世代を担う子どもたちに液体窒素を使った実験を通してガスの多様な可能性を紹介するとともに、一人でも多く化学や理科に興味を持ってもらうための体験型の教育プログラムです。

対象者 保育園児～小学校6年生 **実施日程** 平成31年4月～令和2年3月 **参加者** 平均60名



弊社が本社を構える静岡県西部地域は自動車メーカーやバイクメーカーなど工業が盛んな地域であり素晴らしい技術や素材を持つ企業がたくさん存在します。産業用ガスはそのような工業分野をはじめ、農業分野、食品分野、医療分野、美容分野と幅広く使用されますが、実際には目に見えないためどのように私たちの生活に関わっているかはなかなか感じる事ができません。このように目立たないガスではありますが低温にして液体にすることにより、実際に目で見てもらい化学実験として活用する事ができます。昨今、教育現場では理科や化学離れが叫ばれている中で、学校教育とリンクし教科書上でしか学習できない内容について実際のガスを使用し、見る、触る等の体験をしていただけます。実験では不思議な現象を体感できますので、なぜそうなるのだろうか？という原理だろう？と楽しみながら考える事により興味を持つきっかけ作りとなればと思います。

自然
環境

森永リトルエンゼル育成プログラム
「チャレンジ！サイコー冒険隊」



森永製菓株式会社 <https://www.morinaga.com/saikoo/2019/>

事業概要 自然豊かな富士五湖エリアで、子どもたちが日常から離れ、様々な冒険に挑戦する4泊5日のキャンプです。「SDGs」をプログラムに取り入れ、地球環境や生物多様性への理解を深め、持続可能な社会の形成について考えます。

対象者 小学校4～6年生の男女 **実施日程** 令和元年8月 **参加者** 32名



当社は「直接体験をととして子どもたちの心身の健全な育成を目指す」ことを社会貢献活動の基本理念とし、様々なプログラムを提供しています。本プログラムでは、自然豊かな富士五湖エリアで、子どもたちが日常から離れ、自然の中で様々な冒険に挑戦する機会を提供します。4泊5日間のキャンプ中、「食べる」「創る」「挑戦する」「自分から行動する」「協力する」「身を守る」「自然と生きる」という7つの力への気づきと育成を促すプログラムを体験することで、子どもたちは「生きる力」を身につけていきます。また、子どもたちが地球環境への配慮や生物多様性への理解を深め、共同生活を通して持続可能な社会の形成について考えるきっかけとなるように、『持続可能な開発目標(SDGs)』をプログラム内に内に取り入れています。1999年より、プログラムや開催地をブラッシュアップしながら、未来を担う子どもたちが冒険という直接体験をととして生きる上で大切な力に気づいていけるよう応援してまいりました。

生活
文化

ヒルズ街育プロジェクト



森ビル株式会社 <https://www.mori.co.jp/machiiku/>

事業概要 子どもたちが有する無限の可能性を拓くことで、街の未来を創るプロジェクト。次代を担う子どもたちを対象とし、当社が運営する街(ヒルズ)を“生きた教材”として活用した体験型プログラムを実施しています。参加費は無料です。

対象者 小学校3～6年生とその保護者、中学生2～3年生、高校1～2年生 **実施日程** 平成31年4月～令和2年3月 **参加者** 1,736名



本プログラムでは、創業から約60年間にわたり地域の方々と共に街づくりを推進してきた当社が、“街”の魅力や“都市づくり”のノウハウを、次代を担う子どもたちに楽しみながら伝えると共に、子どもたち自らが街の未来について考える機会を提供しています。六本木ヒルズ、アークヒルズ、虎ノ門ヒルズ等の当社が開発・運営を行う本物の“街(ヒルズ)”を舞台に、当社が大切にしている「安全・安心」「環境・緑」「文化・芸術」をテーマとした親子向けの多様な体験型プログラムを実施。子どもたちが当社の街づくりを通じた社会課題の解決方法を学び、“街”や“都市づくり”に興味・関心を持つことで、自分たちの街や身近なコミュニティに主体的に関わろうとする姿勢を育むこと、つまりは未来の都市づくりの担い手になることを目的としています。また、多様な体験活動、一連のプログラムを通じて、子どもたちがこれからの社会を生き抜くうえで必要な能力の開発、向上も強く意識しています。

生活
文化

ダヴ「大好きなわたし
～Free Being Me～」ワークショップ



ユニリーバ・ジャパン・カスタマーマーケティング株式会社

<https://www.dove.com/jp/dove-self-esteem-project/our-mission/the-dove-self-esteem-project-our-mission-in-action.html>

事業概要 ダヴとガールスカウト日本連盟で実施しているワークショップ。参加者が自分のことをもっと好きになり、自分の可能性を最大限に発揮できるようになることを目的としています。

対象者 中学生・高校生 **実施日程** 令和元年7月 **参加者** 75名

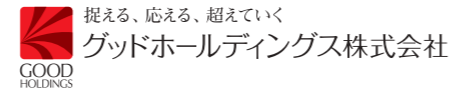


ダヴとガールスカウト日本連盟が協働している「大好きなわたし～Free Being Me～」ワークショップは、社会で形成されている「作られた美」に疑問を投げることから始めるプログラムです。自分の外見に対する自信のなさから色々なことに挑戦できない子どもたちが、自分や他者の内面の魅力に気づくことで、自己肯定感を高めることを目的としています。ダヴはガールスカウト日本連盟と共に2014年からイベントや学校にて数々のワークショップを開催しております。今回はユニリーバ主催の1day高校生インターンシップの一部として開催しました。参加者は、画像処理に関する動画や自分のロールモデルを伝え合うアクティビティなどを初めて集う仲間と楽しみました。そして、「自分らしくいることが一番美しい」と体感しました。ダヴでは、このプログラムを通じて、自己肯定感を伸ばし、子どもたちが自分の可能性を最大限に発揮できるようになることを応援しています。

審査委員会奨励賞

各事例は、企業の意向を踏まえて掲載しております。

自然環境 **こども農業塾**



グッドホールディングス株式会社 <https://www.goodhd.co.jp/csr/>

事業概要 市内の小学校4～6年生を対象。半年にわたって自然や食べ物に関わる様々な体験を通じて、作物を育てることの難しさや楽しさ、自然循環の大切さを伝えることを目的に地元NPO法人と協働で毎年開催しています。
対象者 兵庫県西宮市内の小学校4年生～6年生 **実施日程** 令和元年6月～12月 **参加者** 23名



兵庫県西宮市内の小学校4年生から6年生を対象に、市内の農地で半年にわたって自然や食べ物に関わる様々なチャレンジを経験することで「食」の基となる農業体験を通して、作物を育てることの難しさや楽しさ、自然循環の大切さを学びます。
 自らの手で学び、体験する場を提供することも社会的責任の一つであり、次世代の育成にもつながるとの想いからスポンサーとして主催し、NPO 法人こども環境活動支援協会様と協働で開催しています。
 阪神間を中心にごみの収集事業を始めとする地域に密着した事業を60年にわたって行う弊社グループは、小学校への出前授業や住民と意見交換を行うなど、積極的に地域の方々と交流してきました。「こども農業塾」はこどもたちに自然を通じた食の大切さを伝えることで社会課題であるフードロスや廃棄物の削減について興味を持っていただきます。

科学技術 **子ども向け「エコ体験学習」**



パナソニック株式会社 https://panasonic.co.jp/ap/eco_study/index.html

事業概要 「エコ体験学習」は、学習指導要領に沿いながら、パナソニックならではの環境技術・取り組みを題材に、子どもたちが環境配慮の意義や大切さを学び、体験活動を通して、自ら考え、行動できることを目指した学習プログラム。
対象者 小学生～大学生 **実施日程** 平成31年4月～令和2年3月 **参加者** 5,061名/42校



パナソニック(株)アプライアンス社は、非営利のCSR活動として、2008年より小学生向けの工場見学、出張授業などの「エコ体験学習」を実施。学校が授業の一環として活用出来る様、学習指導要領に沿いながら、子どもたちが環境配慮の意義や大切さを学び、体験活動を通して、自ら考え、行動出来るプログラムを提供。学年ごとの単元に合わせ、社会科、理科や総合学習向けに展開しています。さらに、新学習指導要領に対応したプログラミング学習や、中高生へのSDGs研修やキャリア教育など、教育現場のニーズに応じながら継続的に活動を発展させています。
 2019年度末で51,644人の累計参加者数となりました。

自然環境 **「ホテルも棲める良い自然プロジェクト」**



株式会社フジヤマ <https://www.con-fujiyama.com/>

事業概要 浜松市内の浜松市緑化推進センターを会場に、親子で昆虫や植物採集等のフィールドワークを実践、楽しみながら親子で自然環境や生物多様性の保全について学習します。
対象者 小学生とその保護者 **実施日程** 令和元年5月～9月 **参加者** 計329名



「浜松ホテルも棲める良い自然プロジェクト」は、株式会社フジヤマが社会貢献活動の一環として実施している子どもたちを対象とした環境保全・生物多様性に関する啓発事業です。
 事業は小学生とその保護者を対象とし、毎年、春・夏・秋の3回、浜松市緑化推進センターを会場とし、親子での昆虫採集や植物採集等の野外活動から始まります。採集が終わると公園内の講座室に集合し、図鑑を参考にどんな生物がいたかを子どもたち自身で調べ発表します。最後に講師から、子どもたちの発表に対する講評と環境や生物多様性に関する講話があり、採集した生物を園内に戻し事業を終了します。
 事業終了後の参加者アンケートでは、楽しく学習できた、環境を大事にしたい、次も参加したいなど、好意的な意見が多く寄せられ、プロジェクトの成果を実感しています。

生活文化 **特別支援学校の子どもの自立を応援する「ファンケル身だしなみセミナー」**



株式会社ファンケル <https://www.fancl.jp/csr/community/activity.html>

事業概要 全国各地の「特別支援学校」に通学しているハンディキャップを持った子どもたちが、社会に出る前に自信を持ち、前向きに自立するための「身だしなみセミナー」を30年以上実施。
対象者 「特別支援学校」に通う高校生 **実施日程** 平成31年4月～令和2年2月 **参加者** 1,591名



ファンケルは、全国各地の特別支援学校に通っているハンディキャップを持った子どもたち向けに、社会に出る前に自信を持ち前向きに自立していくための身だしなみセミナーを開催しています。
 セミナーは、1988年よりスタートし、2006年度～2019年度の「身だしなみセミナー」累計実施回数は545回、累計参加人数は15,192人。ただ受講するだけでなく、講師のレクチャーを聞きながら、自分自身でその場で実践していくことで、自宅に戻ってからも自分で「基本の身だしなみ」を再現できるように習得してもらい、清潔感のある基本の身だしなみを自分で整えられるようになってもらうことを目的としています。また、従業員が講師を務め、多様性を認め合う社内風土醸成につながっています。

審査委員会奨励賞

各事例は、企業の意向を踏まえて掲載しております。

科学
技術

フューチャー イノベーションフォーラム(FIF) 「Kids Innovation Lab」

FUTURE

フューチャー株式会社 <https://www.fif.jp>

事業概要 FIFはフューチャー(株)のCSR部門でありながら他社と連携して社会貢献活動を行う団体です。子どもたちを対象とした「Kids Innovation Lab」ではキャリア教育や最先端のテクノロジーに触れるコンピューティング教育の場を提供しています。

対象者 小学校4,5年生6クラス **実施日程** 令和元年12月16日 **参加者** 174名



FIFは「イノベーションで人と社会を豊かに」というコンセプトのもと社会貢献活動を推進しています。2006年の設立以来、社会課題の解決を主眼としたキャリア教育プログラムや日本の競争力を左右するITに着目したコンピューティング教育の場を提供し、2020年12月末現在のべ約2,780名の子どもたちが参加しています。

コンピューティング教育では、プログラミング教室やAI(人工知能)の原理を学習するプログラム、協業しながらAR(拡張現実)やMR(複合現実)の活用を考え実装するプログラムなど最先端のテクノロジーに触れる機会を提供しています。今回エントリーした「VRでバススポーツの世界を体験しよう!〜みんなで共生社会を考えよう」は、コンピューティング教育の一環として、本社(東京都品川区)近くに所在する品川区立日野学園の小学校4,5年生を対象に実施したものです。最新テクノロジーのVR(仮想現実)を活用し、品川区の応援競技でもあるブラインドサッカーを体験してもらうことで、みんなで共生社会について考えるプログラムです。



職業
仕事

地域(大山)・食を学ぶ・味わう。 ブロッコリー定植・収穫体験in大山



株式会社マルイ <http://www.maruilife.co.jp/>

事業概要 定植～収穫までの農業体験、収穫後の調理体験、販売体験を通して、地域の食文化や食料の供給工程を理解することで、食に対する興味関心を持っていただきます。

対象者 小学生のお子様を含む親子 **実施日程** 令和元年8月～11月 **参加者** 定植体験/親子5組13名
収穫体験/親子4組10名



本事業は「地域(大山)・食を学ぶ・味わう」をテーマに、農業・大山町・食の大切さについて考えるきっかけ作りとして、

- ①農作業体験・・・定植から収穫までを行い、自分が植えた食材の成長を目で見ることにより興味関心を持っていただく。
- ②調理体験・・・収穫直後に生産者からしっかり話を聞き、食材を調理することにより、味わいの感じ方などの変化を実感していただく。
- ③ワークショップ・・・地元を知る事により産地の気候や特性を理解してもらい、販売体験時に収穫場所の特徴や生産者の方から教えていただいた事を話せるように実施。

この3つの要素で構成し、地元生産者・メーカーなどとの関わりを通じて、店頭に並ぶ野菜がどのようにして栽培されているのか、食事を作る楽しさ、食事の大切さを知ってもらうことを目的としています。



審査委員会奨励賞

広がる企業の体験活動

各事例は、企業の意向を踏まえて掲載しております。

生活文化 アキレスの「足育(そくいく)活動」

アキレス株式会社 <https://www.achilles-shoes.com/sokuiku/> 

「足育(そくいく)活動」は、これからの長い人生で健康な生活にもつながら「足と靴の大事さ」を、子どもたちに学んでもらう取り組みです。そして、走り方教室、学校での出前講座、足型測定会等、様々な活動を通じて、運動することの楽しさも伝えて、より元気に過ごす心を育てています。

自然環境 「三ツ矢サイダー」水の未来と環境教室～こどもSDGsスクール～

アサヒ飲料株式会社 <https://www.asahiinryo.co.jp/peace/study/> 

「三ツ矢サイダー」を題材に軟水・硬水の違いや、ろ過の仕組みを実験で学び、持続可能な水資源についてグローバルな視点で考える小学生向け出前授業。SDGsを身近な事例で学び、自分たちができることを考え、環境問題解決への意欲を育みます。

生活文化 「カルピス」こども乳酸菌研究所

アサヒ飲料株式会社 <https://www.asahiinryo.co.jp/peace/kids-labo/> 

「カルピス」を題材に「乳酸菌と発酵」をテーマに食の大切さや、新しい価値を生み出すには「夢」と「知恵(学び)」の両方が大切であることを伝え、未来の笑顔に繋がるアイデアを社員とのディスカッションを通じて主体的に考えることを目的とした、食育/理科/総合/キャリア教育が複合的に学べる小学生向け出前授業。

自然環境 「森と水をつなぐ東近江の暮らし再発見プロジェクト」～いきもの観察会～

旭化成住工株式会社 <https://www.asahi-kasei.co.jp/jyukou/csr/biodiversity.htm/> 

「森と水をつなぐ東近江の暮らし再発見プロジェクト」は、東近江市の企業として地域のために、東近江市の「文化」をキーワードに「溜池文化」、「食文化」、「地場産業文化」を「再生し」、「食し」、「繋ぐ」ことをコンセプトとして活動しています。当事業は、この中の溜池文化の再生の一環として実施しています。

生活文化 出前授業「だし・うま味のひみつ」

味の素株式会社 <https://www.ajinomoto.co.jp/kfb/demaiejugyo/> 

次世代を担う子どもたちが、「だし」「うま味」「味覚」について、体験とアクティブラーニングで楽しく学べるプログラム。地域密着型で、全国各地の味の素グループ社員が、講師をつとめます。

生活文化 出前授業「伝統の赤、紅を知ろう～つくる技とつかう心～」

株式会社伊勢半本店 <https://www.isehanhonten.co.jp/museum/education/> 

日本伝統の「紅」を江戸時代から作り続けている紅屋が、小学校～高校を対象に出前授業を実施しました。授業では、紅づくりの技や、紅の歴史文化を紹介するとともに、紅点しや紅染め等の体験を通して、学習の理解を深め、記憶に残る授業を目指しました。

生活文化 PROMISE 金融経済教育セミナー

SMBCコンシューマーファイナンス株式会社 <http://www.promise-plaza.com/> 

全国11か所(2021年1月末時点)「お客様サービスプラザ」が主体となり「PROMISE 金融経済教育セミナー」を展開。お金の役割や大切さを楽しみながら学ぶカードゲームや、未来を担う若者が社会に出る前にお金に関する正しい知識を習得し適切な判断力を身に付けるための出前講座を開催。

職業仕事 南極くらぶ～〈知ろう・見よう・触ろう〉～

NECネットエスアイ株式会社 <https://www.nesic.co.jp/csr/contribute-education.html> 

南極越冬隊を経験した社員が講師になり、南極の自然や動物、越冬隊員の活動などを紹介。1～2万年前の空気が閉じ込められた南極の氷に触れたり、極寒の南極で過ごすための防寒服を着用する体験ができ、自然科学への興味や環境問題への関心を高めます。

自然環境 社有林と工場を活用した自然体験型環境教育プログラム「王子の森・自然学校」

王子ホールディングス株式会社 <https://ojiholdings.disclosure.site/ja/themes/126/> 

社有林や製紙工場を“学び舎”とし、「王子の森・自然学校」を開校。子どもたちは、社有林での開伐・植林体験、製紙工場見学などのプログラムを通して、私たちの生活や産業を支えている「人・森・産業のつながり」を学びます。

その他 高校生沖縄特派員新聞

大阪いずみ市民生活協同組合 <https://www.izumi.coop> 

組合員の高校生のお子様10人程度に参加いただいて、沖縄で戦跡巡りや沖縄の戦争体験者や高校生との交流を通じて、平和について考えてもらいます。その体験を踏まえ、新聞社からの指導のもと、新聞を作成して組合員に配布しております。

その他 コープ・ラボ たべる*たいせつミュージアム 出張授業

大阪いずみ市民生活協同組合 <https://www.izumi.coop> 

コープ・ラボ たべる*たいせつミュージアムは食の安全と食育・たべるたいせつをテーマにした体験型ミュージアムです。小学校の校外学習の場としてだけでなく、ミュージアムスタッフが小学校に訪問し、食に関する体験プログラムをお届けしています。

生活文化 観光人材育成事業「おきなわの観光」意見発表コンクール

株式会社かりゆし <http://www.kariyushi.co.jp/csr/education/okinawa-kanko/iken/> 

「おきなわの観光」をテーマに自然・文化産業・平和・地域の課題など、様々な意見の集まるコンクールです。育つ環境にとらわれず平等に夢を抱き、地域に誇りを持って観光人材育成と、未来を担う子どもたちが地域と共に成長できるステージを提供しています。

自然環境 「防災@カンテレ」～片平さんとみんなで学ぼう防災の知恵～

関西テレビ放送株式会社 <https://www.ktv.jp/> 

関西テレビでは、子どもたちや地域の住民、視聴者が「災害・気象情報に対し、どうすれば命を守るための行動に移してもらえるのか?」をテーマに、家族で楽しみながら身につく体験型の防災イベントを開催しました。

自然環境 きゅうでんプレイフォレスト

九州電力株式会社 九州電力送配電株式会社 http://www.kyuden.co.jp/company_local-social_playforest_index.html 

当社社有林や九州各地の森林公園等において、子どもたちの自然を大切にすることを目的に、当社グループのノウハウを活用し地域のNPO等と協働で実施する体験型の環境学習イベント。

生活文化 エコロッキングスクール

株式会社玄米酵素 <https://www.genmaikoso.co.jp/cultivate/school/> 

「食改善で真の健康を」を理念に、災害時でも役立つお米の「鍋炊き」や、味噌作りを通して日本の伝統食である米と発酵食品の大切さを学ぶ、食育活動を行っています。

自然環境 未来を担う子どもたちへ～環境学習の提供～

株式会社ジャパンビナレッジエコロジー <https://www.jbinc.co.jp/company/environment/plaza/> 

当社では、飲料空容器のリサイクル事業を活かし、工場見学の実施や近隣地域小中学校への環境学習応援隊(出前授業)などによるリサイクル工程の啓発や教育の機会を提供しております。

科学技術 セイコーわくわく時計教室

セイコーホールディングス株式会社 <https://www.seiko.co.jp/csr/society/community/school/> 

あたりまえに存在する「正確な時間」の裏側にある、人類の知恵・職人の技・社会を支える人々の思いに気付き、子どもたちが自ら豊かな未来を実現する方法を考え、作ることに挑戦する意識を育むプログラム。

生活文化 動物と命の授業と触れ合い体験活動～動物と触れ合い、大切な命について考えよう～

ゾエティス・ジャパン株式会社 <https://www.zoetis.jp/company/csr/index.aspx> 

動物の健康を守る薬の製造販売をしているゾエティス・ジャパンは子どもたちに動物の命についての授業を実施し、セラビードッグイベントを実施しています。またフリースクールや児童養護施設の子どもたちを牧場へ招待し、世話やり体験を実施しています。より多くの子どもたちが動物にふれあい、大切な命を考える機会を提供します。

生活文化 小学生プログラミング体験会～かしくワイマイクロボットでフルカラーLEDを光らせよう!～

ソーズエイトITプラザ <http://saws8.com> 

小学生(親子、兄弟、友人同士2人1組)を対象に手のひらサイズのボードコンピュータ「BBCマイクロボット」を用いたフルカラーLED制御などを体験する事業で、参加費はすべて無料で宮城県内3か所で開催しました。

自然環境 SAVE JAPANプロジェクト

損害保険ジャパン株式会社 <http://savejapan-pj.net/> 

保険契約時にWeb証券やWeb約款を選択した場合や、自動車事故の修理時にリサイクル部品を活用した場合に削減できたコストの一部を原資に、自然環境に関心を持ってもらう機会を提供する取り組みとして、全国で「いきものが住みやすい環境づくり」を行うプロジェクトを実施。

広がる企業の体験活動

各事例は、企業の意向を踏まえて掲載しております。

自然環境 大栄環境と一緒に学ぶ「環境出前授業」

大栄環境株式会社  <https://dinsgr.co.jp/>

当社が全国31か所で開催する各「リサイクルセンター」の周辺の小学校・中学校・高等学校・大学等に、こちらから「出向いて」行き、「3Rとは何か」「SDGsって何?」「もったいない」を知るなど、廃棄物資源循環を柱に、環境に関する様々な知識や行動を、「一緒に考える」ことに主眼を置き、興味を持ち、将来社会を担うにふさわしい人物になってもらいます。

自然環境 宝酒造エコの学校

宝酒造株式会社  <https://takarashuzo.co.jp/company/>

エコの学校は、小学校3～6年生とご家族を対象とした環境教育プログラムで、ごみ問題の現状やごみを減らす方法について、カレットアート作成などのリサイクル体験を交えながら楽しく学ぶ場を提供しています。

生活文化 「桃太郎トマトの学校」

タキイ種苗株式会社  <https://www.takii.co.jp/csr/tomato.html>

タキイ種苗の代表ブランドであるトマト品種「桃太郎トマト」を題材にした、小学生向けの授業プログラム。トマトのおいしさや栄養素について学びながら、種苗会社ならではのタネの研究開発や「育種」についても学び、さらに、子どもたち自身で桃太郎トマトを調理して食べてもらうことで、桃太郎トマトを通じて食材の新たな発見に繋げる「食育」「農育」プログラムです。

自然環境 「わくわく自然ふれあい隊」

武田薬品工業株式会社  <https://www.takeda.com/jp/>

タケダのCSR拠点である京都薬用植物園において子どもたちと子どもたちの最も身近な存在である保護者に五感を使って多角的に植物が持っている力(不思議さや面白さ)に触れてもらう5回シリーズの環境教育プログラムです。

職業仕事 釜石コンパス

千代田化工建設株式会社  <https://www.chiyodacorp.com/jp/csr/csr/student-acceptance.html>

高校生が自分たちの進路や将来を考えるため、人生の先輩の経験、仕事などの講義を通じ、社会を知る、関わることから、多様な視点を身に付けて自分たちで考える力を身に付けていきます。社会で生きていくための力を8つに分類し、それぞれのテーマにあった講義を通じてこの力をどのように培ってきたか、高校生がこれからどうやって培っていくかをアドバイスします。

職業仕事 ジョブシャドウイングプログラム

千代田化工建設株式会社  <https://www.chiyodacorp.com/jp/csr/csr/student-acceptance.html>

NPO法人JUKEが主催するプログラム。インターンの前段階として、学生・生徒が、さまざまな企業・組織の社員に一日同行し、どのような仕事をしているかを体感する活動。当社も受け入れ企業として参加。

職業仕事 相模工場「工場見学会・出張授業」

東洋水産株式会社  https://www.maruchan.co.jp/csr/society/fundraising/2020_kengakukai.html

「マルちゃん焼そば 3人前」をテーマに、小学校3年生向けに工場見学会と出張授業を実施しています。商品についての仕組みや製造を学び、実際に「見て」「触れる」ことが体験できるプログラムです。

自然環境 ニチバン巻心ECOプロジェクト、「出前授業」と「森のしずく保全活動」で環境学習

ニチバン株式会社  <https://www.nichiban.co.jp/project/makisin-eco/main7.html>

使い切った粘着テープの巻心を回収し、再資源化する活動に参加する小学校へ訪問し、ゴミ問題やリサイクルに関する「出前授業」を実施。また、小学生を「森のしずく保全活動植樹」に引率し、環境体験学習を行ないました。

自然環境 学校の木のしおり・樹木名プレートの寄贈活動

公益財団法人ニッセイ緑の財団  <http://www.nissay-midori.jp/topics/details/331>

全国約200カ所の「ニッセイの森」において採れた間伐材を有効活用して樹木名プレートに加工し、学校の木のしおりとともに小・中学校等へ無償で寄贈する活動。

生活文化 はしる図書館 日本新薬 きらきら未来ゴー!

日本新薬株式会社  <https://www.nippon-shinyaku.co.jp/csr/kirakiramiraigo.html>

絵本や図鑑、ユニバーサルデザインブック、タブレットで閲覧できるデジタルブックなどを移動図書館車に搭載し、小学校、特別支援学校などの教育機関への訪問や地域のイベントに出展しています。

職業仕事 『人づくりって、未来づくり。』～IT教室、企業訪問受け入れによる「人づくり」への貢献

日立システムズ株式会社  <https://www.hitachi-systems.com/sustainability/index.html>

事業ブランド「Human*IT」を掲げる当社にとって「人づくり」は何ものにも代えがたい大切な取り組みであり、この世界の未来がもっと素敵なものになるように、小学生向けにIT教室や中高生向けに企業訪問受け入れなどの取り組みを通じて「未来の大人たち」とこれからも真剣に向き合い続けています。

生活文化 「見えない」から見えてくる! 本当の「思いやりの言葉」 ゴールボール体験授業

フコクしんらい生命保険株式会社  <https://www.fukokushinrai.co.jp/>

視覚障がい者スポーツであるゴールボールを通して、子どもたちに多くの学びや希望を与えることを目的とした「ゴールボールの体験」と「選手の講話」の2つで構成した体験学習活動。

自然環境 夏休み～森の学校～食とエコの体験キャンプ

株式会社マルイ  <http://www.maruilife.co.jp/>

子どもたちが自然豊かな環境の中で、様々な体験や地元の方々との繋がりを通じ、食やエコについて学び、環境を考え自立心を養う事を目的に開催しています。

生活文化 食育アウトリーチ(出前授業)「たのしいぬか漬け教室」

株式会社丸越  <http://www.marukoshi.co.jp>

ぬか漬についてのお話から実際にぬか床作りを体験しお持ち帰りいただき、各ご家庭でぬか床を育てていただきます。その育て方を詳しく説明し、ぬか漬の食べ比べなど日本の伝統食品御漬物の正しい知識をお伝えします。

生活文化 食がもっと好きになる! 明治の出前授業

株式会社明治  <https://www.meiji.co.jp/meiji-shokuiku/>

小中学校に社員(食育専門スタッフ)が出向いて、弊社の取り扱っている素材(乳・カカオ)を題材に、自然の恵み(栄養等)・生産者の思い・製品(牛乳・チョコレート)になるまでの過程等をお話する出前授業。

自然環境 わたみ自然学校

ワタミ株式会社  <http://shizengakkou-watami.net/>

1999年より、子どもたちに、人は何のために生まれ、どう生きるのか、を考えるきっかけを提供できればと「命・自然・友達・生活習慣・夢」の5つのテーマを軸に小学校4～6年生を対象に約20年間活動しています。



広がる企業の体験活動

令和2年度 青少年の体験活動推進企業表彰



広がる企業の体験活動

『全ての子供たちが、 夢と志を持って可能性に挑戦する上で必要となる力を、 体験活動を通じて確実に育てていくために』



体験活動の必要性

今、我が国は、「人生100年時代」や「超スマート社会(Society5.0)」と言われる変化の激しい時代を迎えている。また、新型コロナウイルス感染症の影響は、人々の生活様式や社会の在り方を大きく転換する契機となった。こうした社会の大転換を乗り越え、一人一人が豊かに生きていくためには、生涯にわたって質の高い学びを重ねて、成長し、多様な他者と協働しつつ、感性や創造性を発揮して新たな価値を生み出す力を身に付けることが必要であり、教育が果たす役割は大きい。

平成30年6月に閣議決定された「第3期教育振興基本計画」においては、「子供の健やかな成長のためには、豊かな心を育むことが不可欠であり、このため、豊かな情操や規範意識、自他の生命の尊重、自己肯定感・自己有用感、他者への思いやり、対面でのコミュニケーションを通じて人間関係を築く力、困難を乗り越え、物事を成し遂げる力、公共の精神等の育成を図るとともに、日本の伝統や文化を継承・発展させるための教育を推進することが重要である。」とされており、社会体験活動や自然体験活動等も含め、児童生徒の多様な体験活動の機会を充実することの必要性を求めている。

様々な主体が協働して実施する体験活動

平成31年1月に発表された中央教育審議会答申「新しい時代の教育に向けた持続可能な学校指導・運営体制の構築のための学校における働き方改革に関する総合的な方策について」(平成31年1月25日)においては、「社会に開かれた教育課程」の理念も踏まえ、学校が家庭や地域の人々とともに子供を育てていくという視点に立ち、地域と学校の連携・協働の下、幅広い地域住民等(多様な専門人材、高齢者、若者、PTA・青少年団体、企業・NPO等)とともに、地域全体で子供たちの成長を支え、地域を創生する活動(地域学校協働活動)を進めながら、学校内外を通じた子供の生活の充実や活性化を図ることが大切だと述べられている。また、令和3年1月に公表した「令和の日本型学校教育」の構築を目指して～全ての子供たちの可能性を引き出す、個別最適な学びと、協働的な学びの実現～(答申)でも学校が家庭や地域社会と連携することの必要性が述べられている。

さらに、先述した「第3期教育振興基本計画」においては、幅広い地域住民や地域の多様な機関・団体等の参画を通じた地域学校協働活動の全国的な推進を図る際には、関係府省が連携し、放課後や土曜日等の学習・体験プログラムの充実や、企業等の外部人材等の活用を促進する必要性が挙げられている。

『青少年の体験活動推進企業表彰』が果たす役割

『青少年の体験活動推進企業表彰』は、中央教育審議会答申「今後の青少年の体験活動の推進について」(平成25年1月21日)を受けて始まったものであり、今年度で8回目を迎える。企業が、体験活動が持つ可能性やその意義について理解を深め、自社の強みを活かし、全国各地で様々な実践が展開されることで、子供たちの充実した教育活動につながることを期待できる。企業から応募される取組内容は年々充実し、企業の取組が着実に広まっている。

事例集では、今年度応募54企業の紹介及び受賞企業(優秀企業・審査委員会奨励賞)の取組を掲載している。今後は、過年度の最優秀受賞企業と今年度受賞企業が一堂に会してポスターセッションを実施し、多様なステークホルダー(学校関係者、学生、青少年教育関係者、ビジネスパーソン、NPO、メディア関係者等)が意見交換する機会を設けるなど、本企業表彰が、社会全体で体験活動の様々な機会を創出し、推進する仕組みの構築につながれば幸いである。

企業の中で青少年に多様な体験活動の機会を 青少年の体験活動推進企業表彰

表彰の目的

社会貢献活動の一環として青少年の体験活動に関する優れた実践を行っている企業を表彰し、全国に広く紹介することにより、青少年の体験活動の推進を図る。

表彰の対象

- (1) 企業(営利を目的として経済活動を継続して実施する法人格を有した組織)が、社会貢献活動として主催した体験活動(企業が本来業務として実施する営利活動は対象外とする)。
- (2) 平成31年4月1日から令和2年3月31日までに実施された体験活動。
- (3) 参加する青少年(おおむね18歳以下の者とそれらを含む親子)を公募し、国内で実施した体験活動。

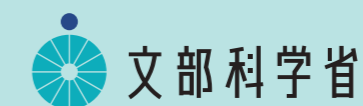
表彰の内容

全国より54企業(大企業38企業、中小企業16企業)の応募があり、優秀企業(プレゼンテーション企業)が12企業、審査委員会奨励賞が6企業選ばれた。
※文部科学大臣賞は、表彰式当日のプレゼンテーションにて最終審査により決定。

年度	企業名・事業名
平成25年度	株式会社リコー [市村自然塾]
平成26年度	アサヒビール株式会社 [日本の環境を守る若武者育成塾]
平成27年度	<ul style="list-style-type: none"> 大企業部門 パナソニック株式会社 [映像制作支援プログラムキッド・ウィットネス・ニュース(KWN)] 中小企業部門 株式会社金沢大地 [コープ農園大豆・味噌づくりコース]
平成28年度	<ul style="list-style-type: none"> 大企業部門 べんてる株式会社・キャノンマーケティングジャパン株式会社 [校舎の思い出プロジェクト]を2社共同で実施 中小企業部門 ワイズティーネットワーク株式会社 [宇都宮市立中央小学校の紅茶部をサポート]
平成29年度	<ul style="list-style-type: none"> 大企業部門 伊藤忠食品株式会社 [商業高校フードグランプリで食に関わる人材の育成・食育] 中小企業部門 株式会社栄水化学 [心を磨く習慣教育「エコピカはかせのおそうじ塾」～子ども達が明るく育ち、地域がHAPPY!こなれる環境づくり～]
平成30年度	<ul style="list-style-type: none"> 大企業部門 株式会社テレビ東京 [“すべての子どもたちに届ける”「テレビ東京の校外学習」] 中小企業部門 株式会社長坂養蜂場 [楽しく学んで、養蜂とミツバチの恵みへの理解を深める「夏休み子ども採蜜体験教室」]
令和元年度	<ul style="list-style-type: none"> 大企業部門 三井物産株式会社 [三井物産「サス学」アカデミー] 中小企業部門 有限会社エコ・ライス新潟 [温故知新!昔ながらの手作業から人工衛星を活用の農業まで都会で体験!]

文部科学省のホームページに、これまでの詳細な情報が掲載されています。ぜひご覧ください。

https://www.mext.go.jp/a_menu/sports/ikusei/taiken.htm 青少年の体験活動推進



令和3年3月

担当：文部科学省総合教育政策局地域学習推進課青少年教室

〒100-8959 東京都千代田区霞ヶ関3-2-2 TEL:03-5253-4111 (代表) <https://www.mext.go.jp>